

2月定例記者会見会議録

2020（令和2）年2月3日（月）午後2時～
市役所本庁4階 406会議室

1. 市長からの発表

2月に入りました。本日は、2月3日、節分です。市内のいくつかの保育所の園児たちは、節分に由来するお話を聞いたり、鬼のお面をつくったり、給食では鬼さんランチといった節分に関する行事を行っていると聞いています。

そして、明日は立春です。暦の上では寒さがあけて春に入る日で、春の始まりになります。我々もよい春になるようにしたいものです。

さて、新型コロナウイルス感染症による肺炎に関するニュースが連日報道されています。

市民の皆さんには、正確かつ迅速に情報提供を行ってまいりますので、感染症対策として、咳エチケットや手洗いの徹底などに努めていただきたいと思います。

それでは、今日の私からの発表は5つです。

まず、資料No.1「2019（令和元）年度 伊賀市ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）の寄附状況について」です。

伊賀市では、市のファンづくりの一環として、ふるさと納税制度を活用し「伊賀市ふるさと応援寄附金」を広く募集するとともに、返礼品を通じて伊賀の特産品のPR等に努めてきたところです。

これまで、ふるさと納税ポータルサイトによる寄附受付や多様な決済方法の導入など、インターネットを活用した寄附拡大への取組や市内の事業者や生産者を訪問し、それぞれ自慢の商品を登録していただけるよう返礼品の充実を図ってきました。

その結果、2020（令和2）年1月6日時点で、今年度の伊賀市ふるさと応援寄附金の合計が6千84件、2億29万7千円となり、既に昨年度1年間の合計件数、金額も大きく上回っています。月別では、12月が昨年同月の約3倍、12月だけで昨年度1年間の合計を超える1億2千5百69万円もの寄附をいただきました。

伊賀市のふるさと応援寄附金が大きく伸びた背景には、寄附拡大に向けて取り組んできたことが実を結んだということ、また「秘蔵の国」といわれる伊賀の産品が、全国で高い評価を得ている証拠だと考えています。

皆さんからいただいた寄附金は、大切に伊賀市の事業に活用させていただきます。引き続き本市の魅力を全国に発信するため、ふるさと納税の取組を進めてまいりますので、応援よろしく願いいたします。

つづいて、資料No.2「伊賀・山城南・東大和定住自立圏シンポジウムの開催について」です。

2月23日（日）午後1時30分から山添村ふれあいホールにおいて、「伊賀・山城南・東大和定住自立圏シンポジウム ～水と歴史でつながる圏域～」を開催します。

定住自立圏とは、「中心市」の都市機能と「連携自治体」の魅力を活用して相互に役割分担し、連携・協力することで、圏域に暮らす全ての住民が幸せを実感できる地域にするとともに、地方圏への定住を促進するための取組です。

2016（平成28）年10月に伊賀市が中心市となり、京都府笠置町・南山城村の3市

町村で「伊賀・山城南定住自立圏」を形成し、様々な連携事業に取り組んできました。

そして、昨年 10 月には奈良県山添村が加わったことで、圏域名称を「伊賀・山城南・東大和定住自立圏」、略称「伊賀城和定住自立圏」と改め、歴史や文化、経済圏を同じくする「水と歴史でつながる圏域」として、行政上、三重県・京都府・奈良県の 3 府県かつ関西ブロックと東海ブロックをまたぐという全国的にも例のない定住自立圏を形成しました。今回これを記念して、2 部構成でシンポジウムを開催します。第 1 部では、総務省地域力創造グループ地域自立応援課長の^{つのだひでお}角田秀夫氏に「定住自立圏構想について」と題してご講演をいただきます。

また、第 2 部では、「魅力ある圏域を創るために」と題して、パネルディスカッションを行います。圏域の課題である人口減少や少子高齢化に対応し、魅力ある圏域を創るために連携して何ができるか、圏域住民の皆さんと一緒に考えたいと思います。圏域の魅力を知っていただくよい機会ですので、多くの方に参加いただければと思います。

つづいて、資料 No.3 「忍者市月間における忍者市プロジェクト事業の実施について」です。

伊賀市では、伊賀が忍者の本流地・聖地であることを対外的に示すとともに、伊賀市民が忍者発祥の地であることを改めて認識し、市民一人ひとりが忍者の歴史文化や精神を継承し、官民一体となって忍者を活かした観光まちづくりを目指していくため、2017（平成 29）年 2 月 22 日に忍者市宣言を行いました。この宣言に則り、広く忍者市を発信するため、毎年 2 月を「忍者市月間」と称し、官民連携による忍者市プロジェクト事業を実施しており、今年も様々な事業を実施します。

1 つ目は、忍者市市長による市内小学校での出前授業です。今年は、2 月 20 日（木）に阿山小学校の 5・6 年生児童を対象に、私自身が出前授業を行います。なお、授業の後には、忍術をモチーフにした給食が提供され、私も子どもたちと一緒に頂くことにしています。

2 つ目は、忍者図書館です。伊賀市上野図書館では、忍者市月間に合わせて「忍者」をテーマとしたコーナーを設置し、忍者のしおりや紙手裏剣を配布します。

また、関連事業として、「忍びの里伊賀甲賀忍者協議会」主催の日本遺産モニターツアーと、三重大学国際忍者研究センター主催のシンポジウムが、2 月 22 日（土）に開催されます。

なお、既に行われた事業ですが、先週末の 2 月 1 日から 2 日にかけて、第 11 回全日本忍者手裏剣打選手権大会が伊賀市立上野西小学校体育館及び伊賀流忍者博物館忍術ひろばで開催されました。

その他にも、市内事業者による関連事業も行われる予定となっており、日本忍者協議会「忍者の日」サイトで広く情報を発信しているところです。

つづいて、資料 No.4 「上野コミュニティバスの愛称決定について」です。

上野コミュニティバスの 2 台目の忍者ラッピングバスが 4 月 1 日から揃って運行を開始します。これに合わせ 2003（平成 15）年の運行開始以降、使用してきたバスの愛称である「しらさぎ」を一新して、忍者発祥の地にふさわしく親しみやすい愛称を募集したところ、全国から 156 人の応募をいただきました。

この中から伊賀市若者会議のメンバーを含む選考会を経て、愛称は「にんまる」に決定

しました。愛称「にんまる」を応募いただいた、伊賀市在住の前田康宏さんと、奈良県生駒市在住の脇本健治さんの2人を最優秀賞に決定しましたのでご報告させていただきます。評価された点として、「子どもたちに親しみやすい」「言葉の雰囲気がい」「2020年から運行開始となることから20（にんまる）と語呂合わせもよい」などがありました。

今後の予定ですが、バス停留所のマークも一新し、この新しい愛称「にんまる」で4月1日から運行を開始しますので、よろしくお願ひします。

つづいて、資料No.5「成瀬平馬家長屋門保存修理工事見学会の開催について」です。

3月28日（土）に成瀬平馬家長屋門保存修理工事見学会を開催します。

成瀬平馬家長屋門は江戸時代後期に藤堂藩の千石取の上級武家の門として建てられたものです。明治期以降、武家屋敷の多くが取り壊され、現在では、旧上野城内に残る建物は旧成瀬家のものだけになっています。この長屋門は一部、改変された部分も見られますが、当初の姿を残す重要な建築物であるため、2017（平成29）年3月28日に伊賀市指定文化財建造物に指定されています。文化財としての価値を長く維持していくことや、まちぐるりの拠点施設として活用していくために保存修理工事を行っています。

今回、保存修理工事現場を公開します。見学会は3月28日（土）の午後1時から3時までで、午後1時30分からは説明会を開催します。見学会では工事に伴う調査により、当時の建物の姿や、新たに発見した鬼瓦のへう書き等を紹介させていただきますので、ぜひご参加いただきたいと思ひます。

私からの発表は以上ですが、11月4日（月・祝）に伊賀市文化会館で、市制施行15周年を記念して、テレビ東京の「開運なんでも鑑定団 出張なんでも鑑定団 in 伊賀」の公開収録が行われました。明日の2月4日（火）午後8時54分に放送されます。あいにく伊賀市では、放送されませんが、東京や大阪・愛知などでは放送されます。BS放送や三重テレビでの再放送は後日放送されるとのことです。また、連絡が入り次第報告させていただきますと思ひます。

2. 2月の主な行事予定

(1) 企画展示「忍びとくらし」の開催

日 時 2月1日（土）～4月29日（水）午前9時～午後7時

休館日：毎週月曜日

場 所 伊賀市上野図書館 2階 企画展示コーナー
（伊賀市上野丸之内40番地の5）

内 容 「伊賀甲賀山論関係文書」等の展示

担 当 伊賀市上野図書館（電話 0595-21-6868）

(2) 「2019年度 郷土の歴史夜咄会 其の22」の開催

日 時 2月21日(金) 午後6時～午後7時30分

場 所 伊賀市上野図書館 2階 視聴覚室
(伊賀市上野丸之内40番地の5)

内 容 テーマ 「社寺の復興に尽力した 小天狗 清蔵」

講 師 地域誌「伊賀百筆」編集長 北出 楯夫 氏

担 当 伊賀市上野図書館 (電話 0595-21-6868)

(3) 伊賀市本庁舎市民ミニギャラリー (2月展示)

日 時 2月3日(月) 正午～2月28日(金) 正午
午前8時30分～午後5時15分 (市役所の開庁時間に準ずる。)

場 所 伊賀市本庁舎4階 市民ミニギャラリー

内 容 べんぜんかん研究所の絵画作品8点 藤岡 明さんの絵画作品2点

担 当 企画振興部 文化交流課 (電話 0595-22-9621)

(4) ライトピアおおやまだ「梅まつり」の開催

日 時 2月28日(金) 午後7時

場 所 ライトピアおおやまだ (伊賀市奥馬野17番地)

内 容 歌謡ショー、落語、人権劇

担 当 人権生活環境部 同和課 ライトピアおおやまだ (電話 0595-47-1160)

(5) 2020年2月 寺田市民館「じんけん」パネル展の開催

日 時 2月3日(月)～2月27日(木) 午前9時～午後5時

※平日のみ

※2月4日(火)・2月18日(火)は午後7時30分まで延長

場 所 寺田教育集会所 第1学習室 (伊賀市寺田225番地)

内 容 「身元調査と部落差別」

担 当 人権生活環境部 同和課 寺田市民館 (電話 0595-23-8728)

(6) 2020年2月 いがまち人権パネル展の開催

日 時 2月12日(水)～3月31日(火) 午前9時～午後5時

※平日のみ

※2月20日(木)・3月5日(木)・19日(木)は午後7時30分まで延長

場 所 いがまち人権センターホール (伊賀市柘植町8898番地)

内 容 「2019年度いがまち人権センター活動紹介」

担 当 人権生活環境部 同和課 いがまち人権センター (電話 0595-45-4482)

(7) 子育て相談広場「にんにんパーク」事業の開催

- 日 時 2月9日(日)・3月8日(日) 午前10時～午前11時30分
場 所 上野南公園「にんにんパーク」内(伊賀市ゆめが丘七丁目13番地)
内 容 2月9日(日) 忍者遊びを楽しもうの巻
3月8日(日) 風と遊ぼうの術
担 当 健康福祉部 こども未来課(電話 0595-22-9665)

3. その他

主な質疑応答の概要

【忍者体験施設の場所について】

- 記 者：忍者体験施設は、成瀬平馬家跡地でよかったですか。
市 長：皆さんにお伺いしたところ、あの辺で落ち着きそうに感じています。
記 者：狭くないですか。
市 長：平屋とは限りません。
記 者：両サイドに建物があり窮屈感を感じます。
市 長：裏側が伊賀鉄道のバックヤードになっており一体的な使い方ができるのではないかと思います。

【伊賀上野観光情報紙いがぐりの廃刊について】

- 記 者：伊賀上野観光協会が発行の情報紙いがぐりが終わってしまうようです。市民の方も「残念だ」と言っている人がフェイスブックなどで結構いるのですが、市長としてはどのように思われますか。
市 長：無くなって終了というわけでなくて、また別に発展していくのでしょから、それはそれでよいのではないのでしょうか。